

～ネパール大地震・心をつなぐ講演会～

知ることからはじめてみませんか

「OKバジ―ネパールでの心の育ちを支える活動」

講師：桜井ひろ子さん

6月29日（月）11時～12時（10時半開場）

○場 所：通町コミュニティセンター2階大広間
（仙台市青葉区通町二丁目3番10号）

○参加費：500円（全額をネパール支援のためにOKバジに託します）

ネパール大地震から1カ月が過ぎました。

東日本大震災で祈りを捧げて下さったネパールの人々に、今、私たちが出来ることは なのでしょう。

小さな一歩ですが、ネパールのことを知り、人々に心を寄せたいと思います。元保育士の桜井ひろさんは、ネパールの子どもたちや人々の暮らしの中に「保育の原点」「人間育ちの原点」を見出し、活動してきました。

桜井さんが見つけてきた、ネパール東パルパ地方の子どもたちと人々の暮らし。その地で20年以上支援を続けている日本人、OKバジ垣見一雅さんのこと。そして、ネパール大地震のこと。

ぜひ、私たちと一緒に「知ること」からはじめてみませんか。

桜井ひろ子さん

宮城県生まれ。仙台市のかたひら保育園・ことりの家保育園に25年間勤務。退職後、スリランカの重度障害児（者）施設でのボランティア、仙台市の障害児通園施設なのはな園園長を経て、ネパール・サチコールへ。以降10年以上、5か月間はサチコール村、7か月間は日本で暮らす生活であった。現在、仙台で有志の方々とともに、OKバジを支援する会「七夕会」を続けている。

著書：「ゆらぎつつ子育て」「ちょっとそこまでスリランカ」「花のかあさん私のかあさん」
「道を楽しむ OKバジと歩いた10日間」「ごんごんの保育笑説」

◆講演後、ランチ交流会を行います。（13時半終了予定）

◆キッズコーナーを準備します。小さなお子さんもぜひ一緒にどうぞ。

[申し込み、問合せ先] ネパール・心をつなぐ会

申し込みの際、氏名・参加人数・電話番号をお知らせください。

メール：okbaji.tunagu@gmail.com

電話：070-5326-2366（鈴木）

お電話は、9:30～16:00の間でお願いします。

【紹介】OKバジ 垣見一雅さん

首都カトマンズから離れた、ネパール東パルパ地方には、標高 1400 メートルの山々に囲まれた山岳地帯に小さな村々が点在しています。

桜井ひろ子さんが初めてサチコール村を訪れたとき、電気やガス、水道もない中、僅かな平地で農作物を育てながら暮らしをしている人々に出会いました。

医療の知識や清潔な器具がないために出産で命を失う母親たち、約 10 円（5 ルピー）の初診料が病院に行くことの足枷になっている病人、水汲みや家畜の世話を追われ、学校に通えない子どもたち。厳しい環境のなかで、人や自然と触れ合い、たくましく生き生きと育てている子どもたち。

その地で出会ったのが日本人、垣見一雅さんでした。垣見さんは、人々と村の真の自立を願い、寄せられる日本の支援者からの善意を背負い、たった一人で活動していました。現地の人々から「OKバジ」と呼ばれ慕われています。

OKバジが活動をはじめてから 20 年以上がたち、学校や簡易診療所、図書館などが建てられ、貧困で学校に通えない子どもたちのための奨学金制度が創設されました。

教育を受けられる人が増え、人が育ち、村々の自立に向けたこれからというとき、ネパールをあの大地震が襲ったのです。

東パルパ地方には、車が通れずに人の足で数日かけてしかたどり着けない村々があります。

被害の大きさが徐々に明らかになってきました。今、OKバジは村々を奔走しています。

【会場・案内地図】会場には駐車場がありません。車でお越しの際は、お近くの有料駐車場をご利用ください。

最寄りのバス停は、「宮城県仙台合同庁舎前」または「通町 2 丁目」。

JR 北仙台駅、地下鉄北仙台駅からは、徒歩 5～7 分。



<ネパール・心をつなぐ会> ブログ : <http://nepal-tsunagu.jugem.jp>

桜井ひろ子さんの温かい子どもへの視線、子育てを待つ姿勢に感動し、大ファンになった仙台在住の子育て中の母たちと、元学童保育指導員・みっちゃんが、ネパール大地震のあとにつながりました。